

令和2年度海水浴場水質調査結果(遊泳期間中)について

海水浴の遊泳期間中に、17の海水浴場の水質について調査した結果、全ての海水浴場で水浴に適した水質でした。

1 目的

県、北九州市及び福岡市では、海水浴場の水質調査により、水浴利用の適否を判定しました。

2 調査対象

利用者数が年間概ね1万人以上、又は市町村が利用実態に基づき調査が必要と認める海水浴場を対象としています。

本年は17の海水浴場で調査しました(別紙1のとおり)。

3 調査機関及び期間

福岡県、北九州市及び福岡市

令和2年7月20日(月曜日)から8月17日(月曜日)まで

4 調査項目

ふん便性大腸菌群数、油膜の有無、COD(化学的酸素要求量)、透明度等

5 調査結果の概要(詳細は別紙2のとおり)

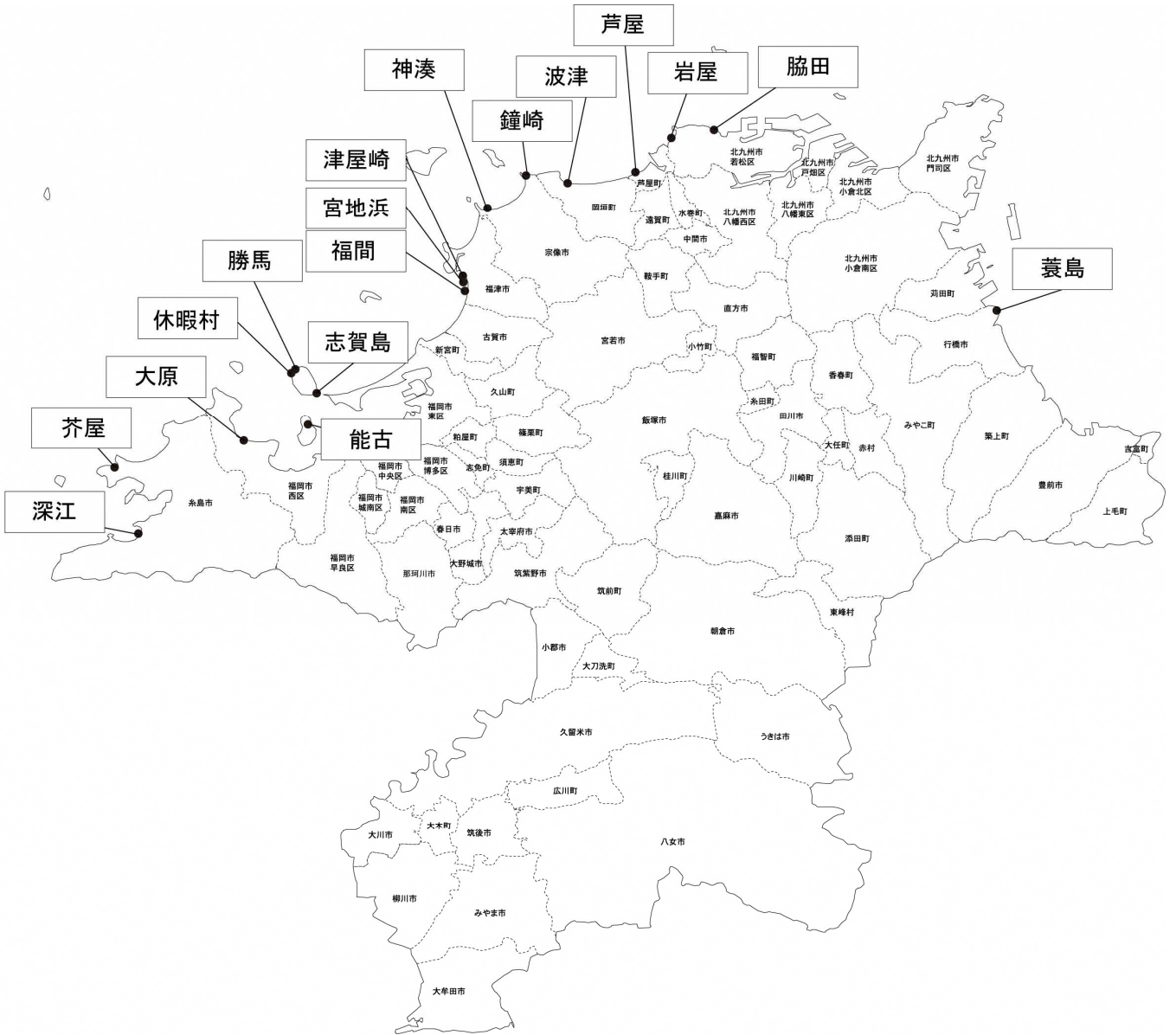
	区分	海水浴場の名称
適	水質AA(4カ所)	芥屋、大原、波津、脇田
	水質A(9カ所)	勝馬、志賀島、福岡、宮地浜、津屋崎、神湊、鐘崎、芦屋、岩屋
可	水質B(4カ所)	深江、能古、休暇村、蓑島
	水質C(0カ所)	該当無し
	不適	該当無し

水質AA等の評価は、海水浴場の水質調査結果をもとに、別添判定基準により海水浴場としての水質について評価したものであり、海水浴場の現況・レジャー施設等を含めた評価ではない。

6 添付資料

- (1) 判定基準 資料1
- (2) 用語解説 資料2

調査対象海水浴場



令和2年度海水浴場調査結果表(遊泳期間中)

	(ふりがな) 海水浴場の名称	市町村名	水 質					水域名	昨年度		実施 主体
			ふん便性大 腸菌群数 (個/100ml)	油膜 の有無	COD (mg/l)	透明度 (m)	判定		推定 利用者数 (万人/年)	水質 判定	
1	ふかえ江	糸島市	43	無	2.1	全透	水質 B	唐津湾 (玄界灘)	1.8	水質 B	福岡県
2	けや屋	糸島市	不検出	無	1.6	全透	水質 AA	筑前海 (玄界灘)	3.5	水質 AA	
3	おおばる	福岡市 西区	不検出	無	1.6	全透	水質 AA	博多湾	1.9	水質 B	福岡市
4	のこ古	福岡市 西区	86	無	3.3	全透	水質 B	博多湾	1.0	水質 B	
5	きゅうかむら	福岡市 東区	不検出	無	2.5	全透	水質 B	筑前海 (玄界灘)	1.0	水質 B	
6	かつま	福岡市 東区	2	無	1.9	全透	水質 A	筑前海 (玄界灘)	0.3	水質 A	
7	しかのしま	福岡市 東区	6	無	1.4	全透	水質 A	筑前海 (玄界灘)	2.1	水質 AA	
8	ふくま	福津市	2	無	1.9	全透	水質 A	筑前海 (玄界灘)	未集計	水質 A	
9	みやじは	福津市	3	無	1.6	全透	水質 A	筑前海 (玄界灘)	未集計	水質 A	
10	つやぎ	福津市	5	無	1.7	全透	水質 A	筑前海 (玄界灘)	未集計	水質 A	
11	こうのみなと	宗像市	10	無	1.3	全透	水質 A	筑前海 (玄界灘)	0.5	水質 AA	北九州市
12	かねざき	宗像市	41	無	1.5	全透	水質 A	筑前海 (玄界灘)	0.6	水質 AA	
13	はつ津	遠賀郡 岡垣町	不検出	無	1.1	全透	水質 AA	筑前海 (響灘)	0.5	水質 AA	
14	あしや	遠賀郡 芦屋町	9	無	1.4	全透	水質 A	筑前海 (響灘)	2.5	水質 AA	
15	いわや	北九州市 若松区	3	無	1.4	全透	水質 A	筑前海 (響灘)	1.5	水質 A	
16	わいた	北九州市 若松区	不検出	無	1.2	全透	水質 AA	筑前海 (響灘)	1.5	水質 A	
17	みのしま	行橋市	25	無	4.2	0.5	水質 B	豊前海 (周防灘)	0.5	水質 B	福岡県

判定基準

1 判定については、下記の表に基づいて以下のとおりとする。

- (1) ふん便性大腸菌群数、油膜の有無、COD又は透明度のいずれかの項目が「不適」であるものを、「不適」な海水浴場とする。
- (2) 「不適」でない海水浴場について、ふん便性大腸菌群数、油膜の有無、COD及び透明度によって、「水質AA」、「水質A」、「水質B」あるいは「水質C」を判定し、「水質AA」及び「水質A」であるものを「適」、「水質B」及び「水質C」であるものを「可」とする。
 - ・ 各項目の全てが「水質AA」である海水浴場を「水質AA」とする。
 - ・ 各項目の全てが「水質A」以上である海水浴場を「水質A」とする。
 - ・ 各項目の全てが「水質B」以上である海水浴場を「水質B」とする。
 - ・ これら以外のものを「水質C」とする。

		ふん便性大腸菌群数	油膜の有無	COD	透明度
適	水質AA	不検出 (検出下限2個/100m l)	油膜が認められない	2mg/ l 以下 (湖沼は3mg/ l 以下)	全透 (1m以上)
	水質A	100個/100m l 以下	油膜が認められない	2mg/ l 以下 (湖沼は3mg/ l 以下)	全透 (1m以上)
可	水質B	400個/100m l 以下	常時は油膜が認められない	5mg/ l 以下	1m未満～ 50cm以上
	水質C	1,000個/100m l 以下	常時は油膜が認められない	8mg/ l 以下	1m未満～ 50cm以上
不適		1,000個/100m l を超えるもの	常時油膜が認められる	8mg/ l 超	50cm未満*

(注) 判定は、同一海水浴場に関して得た測定値の平均値による。

「不検出」とは、平均値が検出下限未満のことをいう。

透明度(*の部分)に関しては、砂の巻き上げによる原因は評価の対象外とすることができる。

2 「改善対策を要するもの」については以下のとおりとする。

- (1) 「水質C」と判定されたもののうち、ふん便性大腸菌群数が、400個/100m l を超える測定値が1以上あるもの。
- (2) 油膜が認められたもの。

用語解説

ふん便性大腸菌群数

大腸菌及び大腸菌によく似た性状の菌の総称で、畑の土の中などにも見られるが、一般的には人や動物の排泄物に多く存在するので、ふん便等による水質汚濁の程度を表す指標として用いられる。

油膜

油分による汚濁の有無を調べるために、水面上の油膜を目視により確認する。

化学的酸素要求量 (COD)

水中の有機物などを酸化剤で酸化するときに消費する酸素量のこと。海域や湖沼などの汚濁の程度を表す指標として用いられ、その値が大きい程、水質汚濁が進行している。

透明度

水の透明度は、直径30cmの白色円板を水中に沈め、これが見えなくなる深さと引き上げて行って見え始めた深さとを平均し、メートル(m)で表示したものである。